

2024 年度事業計画

1. 刑事司法制度に関する調査及び研究、研究会、講演会、シンポジウムの開催、セミナー、研修等の実施並びに出版その他の情報提供
 - (1) 刑事司法制度改正に関する調査・研究・情報発信（HRW と連携）

2023 年 6 月より公益財団法人ヒューマン・ライツ・ウォッチと進めている「ひとごとじゃないよ！人質司法」プロジェクトを継続する。
 - (2) 関連する研究会、講演会、シンポジウムの開催
 - ① 「ひとごとじゃないよ！人質司法」に関するシンポジウム開催（HRW と共催）

2024 年度秋に、議員会館にて第 2 弾シンポジウムを開催する。
 - ② 「えん罪関連の問題」についての講演会の開催
2024 年に、「袴田事件」の再審公判の判決を機に、再審問題やえん罪問題、死刑問題についての社会的関心が高まることに呼応して、刑事司法の改革についての講演会またはシンポジウムを開催する。
 - ③ 今西事件についての公開講演会の開催
判決が 2024 年秋に予定されているため、2024 年夏頃に世論を喚起するための一般市民・メディア向けシンポジウムを開催する。
 - ④ 神戸質店事件についての公開講演会の開催
2024 年度中には再審請求をする予定であるため、2024 年 3 月 30 日に引き続き 2024 年秋頃に一般市民・メディア向けシンポジウムを開催する。
 - ⑤ 「人質司法」の研究会の実施
人質司法問題については、国際的な観点からみたときに日本の刑事司法制度・運用をどのように評価できるかということも、ひとつの重要なポイントとなる。そこで、比較法的な観点から人質司法問題について考える研究会を開催し、議論の素材を抽出し、提案書に盛り込みたい。
 - ⑥ 法科学に関する韓国・台湾・日本の現状比較研究会の開催
韓国および台湾の法科学は、組織体制・業務内容・信頼性への取組みについて韓国・台湾での現地視察の報告を行うとともに、公正な科学的司法の実現にむけて日本の法科学コミュニティが目指すべき方向性について研究する。

(3) 司法制度改革に向けた提案活動

- ① 「人質司法」問題について、海外比較などを含めつつ調査・研究を行うとともに、議員へのロビイング活動を行い、立法・行政への働きかけやメディアや市民への情報発信を行う。
 - ・ロビイング活動の継続（2024 年度中）
 - ・要綱案の作成（～4 月）
 - ・記者会見（5～6 月頃）

2. 科学的見地から支援可能な冤罪事件についての調査、相談及び支援

(1) 既支援決定事件についての活動

① 25 海遊館事件

支援弁護士の増員を図り、再審請求の目途をつける。(9 月まで)

② 304 神戸質店事件

前期末 3 月 30 日に市民シンポジウムを実施し、再審請求に向けて弁護団に合流して活動を継続し、再審請求を行う。(12 月まで)

③ 434 今西事件

IPJ メンバーが弁護団として控訴審が係属中であり、メンバーが日々の接見等を通じて被告人本人を支援している。また HP からの発信等を通じて、世論喚起にも貢献する。2024 年秋頃に控訴審判決予定。

④ 459 クリス事件

IPJ メンバーが弁護団として一審の審理を進めており、今年度中に判決予定。申請者の了解が得られるようになれば、IPJ メンバーによる法定傍聴や HP 等による情報発信を通じて、無罪判決を目指す。

(2) 新規相談事件の審査活動

① 関東

月 1 回審査会議を行い、支援しうる事件の増加を企図している。

② 関西

5 班体制で、各班に審査事件を割り当て、月 1 回の頻度で全体の審査会議を行い、支援可能な事件の増加を企図している。メンバーの増員を計画する。

3. その他の事業活動

(1) 海外のイノセンス団体との連携

① イノセンス・ネットワーク (IN)

・イノセンス・ネットワーク (IN) 大会への人材派遣

前期末 2024 年 3 月にニューオリンズ（アメリカ）で開催されるイノセンス・ネットワーク大会のディレクターズ・ミーティングに参加するとともに、大会で開催されるパネルディスカッションに登壇する。2025 年 3 月または 4 月に開催される大会にも参加。

・ヨーロッパ

前期末 2024 年 3 月にジュネーブ（スイス）で開催されるヨーロッパ・イノセンス・ネットワーク大会に参加して日本の取組状況を報告する。また国連への働きかけについての全世界的議論に参加する。国連への働きかけについて、2024 年度も継続して議論に参加する。

・台湾

引き続き台湾イノセンス・プロジェクトとともに日常的な情報交換を行う。前期末 2024 年 3 月には台湾にて再審制度に関する調査を行う予定である。2024 年 8 月に開催される台湾 IP の総会への参加を検討する。

・マレーシア

マレーシアでイノセンス・プロジェクトを立ち上げようとしている RashiAbdul Ismail 氏との連携を継続する。